

## 埼玉県環境白書の刊行にあたって



地球温暖化をはじめ、生物多様性の損失、大気や海洋の汚染といった地球環境の悪化は、今や経済・社会にも大きな影響を与える喫緊の課題であり、世界各国で持続可能な社会を目指す様々な取組が進められています。

こうした中、本県では今年3月に、「埼玉県地球温暖化対策実行計画（第2期）」を改正しました。本計画では、令和12年度（2030年度）に温室効果ガス排出量を平成25年度（2013年度）と比べ46%削減する目標を設定し、令和32年（2050年）のカーボンニュートラル実現を宣言いたしました。

持続可能な社会を構築するためには、環境負荷の低減により経済成長も実現する、環境と経済の両立が求められており、この流れに乗れなければ、世界の潮流から取り残されてしまいます。

そこで、本県は持続可能なまちづくりを目指す「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」や廃棄物の発生を抑え資源を循環させて有効利用を図るサーキュラーエコノミーへの移行、生物多様性の損失を食い止め回復させるネイチャーポジティブなどの取組を積極的に推進してまいります。

この「埼玉県環境白書」は、本県の環境の保全や創造に関する施策の進捗状況を取りまとめたものです。この白書をきっかけに、県民や事業者の皆様が環境問題に対する理解を深めていただければ幸いです。

持続可能な社会の実現には県のみならず、県民や事業者の皆様、国や市町村などが「ワンチーム」で取り組むことが不可欠です。皆様のより一層の御支援と御協力を心からお願い申し上げます。

令和5年12月

**埼玉県知事 大野元裕**